

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	嬉野市避難行動支援者連絡会議		
開催日時	令和7年11月26日（水）15：00～17：00		
開催場所	嬉野庁舎 3－1 会議室		
傍聴の可否	○可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委 員	坂口典子委員、宮崎京子委員、諸岡博子委員、中山逸男委員、堀越将男委員、岸川和則委員、鳥巢克文委員、北川泰則委員、副市長、市民福祉部長	
	事務局	福祉課：課長、副課長、主任	
	その他	下宿区長、民生委員、総務・防災課：防災監、県危機管理防災課、県社会福祉課	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	・ 嬉野市避難行動支援者連絡会議委員名簿 ・ 嬉野市避難行動支援者連絡会議役割分担名簿 ・ 佐賀県プレスリリースの写し ・ 個別避難計画・「ひなんさんぽ」について（概要説明） ・ 「ひなんさんぽ」スケジュール案		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	1 委嘱状交付、委員紹介 2 委員長あいさつ 3 「ひなんさんぽ」について 4 個別避難計画に基づく訓練について		
内 容	資料を基に、概要説明を行い、要配慮者役と支援者役に分かれ、実際に包括支援センター及び障がい者相談支援窓口職員と一緒に避難所まで歩いて「ひなんさんぽ」を実施し、一緒に移動しながら避難経路の確認を行う避難訓練を実施後、避難支援の在り方についての協議を行った。		
審議経過	委員長 事務局 委員	委嘱状交付（新任委員机上配布）、委員紹介 委員長あいさつ 配付資料に沿って説明 1 （１）「ひなんさんぽ」について（県社会福祉課より概要説明） （２）「ひなんさんぽ」留意事項について（防災監より説明） （３）避難行動要支援者名簿の更新状況、個別避難計画策定状況、 10月末高齢化率、要介護認定率、及び訓練時の役割分担、 スケジュールについて（事務局より説明） 2 訓練実施前のストレッチ（保健師の指導により実施） 3 訓練実施（総務防災監の先導により「ひなんさんぽ」実施） 訓練実施後 4 議事 （１）個別避難計画に基づく訓練について 訓練を体験しての感想や気付きについて下記のとおり報告がありました。 ・車椅子体験者 車椅子に乗って安心できるのは支援者の体格もあると感じた。車椅子を押してみても周囲の状況把握のためにもう1人、目になる人の必要性を感じた。夜間は周囲の状況が分からないので日頃より現場を熟知しておくことが必要。日頃の防災訓練より長い距離を乗ってみても車椅子に乗っている人の防寒対策の必要性を感じた。実際に公道を押すのは病院の室内で押すのとは違うと感じた。手をつなぐ育成会でも訓練を試みたいと思った。用水路が多く危険度が高いと感じた。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーカー体験者 水路、段差は危ないので持ち上げてしまったが、使い方の確認や声掛けをしながら一緒に避難する必要性を感じた。防災訓練もマンネリ化している気がしているので今回の体験は良かった。車で毎日通っているが歩いてみると障害物が意外と多く目の不自由な方や車椅子の方は大変だと思った。避難所に通じる道だけでも整備してほしい。 ・アイマスク、白杖体験者 真っ直ぐ歩けない、水の音を聞くと反対側（道路中央）に行ってしまう怖い思いをされているということを感じた。避難の際は車椅子を使用した方が良いのではと思った。アイマスクをしてみて一人で避難するのは無理だと感じた。日頃気付かない段差、バリアがあると意見がありましたので、身近な地域で地域コミュニティ等に広がれば嬉しいと思います。 ・その他 個別避難計画書は本人の申出で作られているが、二人暮らしの避難場所が違うのはなぜか？同じ場所が良いのでは？
	事務局	個人の希望で避難場所は選んであるので、個人の身体状況等で選択されている場合もある様です。
	県社会福祉課	<p>県より訓練を実施した感想を下記のとおり伝えられました。</p> <p>防災訓練と聞くと特別な事と思われるが、日常の中に防災意識を取り入れていただきたいので、本日の体験を機に嬉野から「ひなんさんぽ」を広げていただければと思います。</p>
	委員長	本日の議事は以上となります。
	事務局	<p>5 閉会</p> <p>事務局により閉会</p>